

平成29年度（2017年）日本医師会サーベイ測定機種・項目・試薬一覧

機種コード	コバS 8000 c502, コバS 6000 c501	BBJ707
-------	------------------------------	--------

トレーサビリティーの確認：トレーサビリティーの確認：施設にて検討されている場合には、使用した標準物質を選択して下さい。

番号	項目	試薬名	キャリブレーター	下桁	単位	測定法	製造販売元	検量用試料(キャリブレーター)	トレーサビリティーの確認	備考
1	総蛋白	コバS試薬TP II	C.f.a.s. II	1	g/dL	11 : ビュレット法	22 : ロシュ	2 : 血清ベース、指定	7 : 企業の標準品	
2	アルブミン	コバS試薬ALB II	C.f.a.s. II	1	g/dL	11 : BCG法	22 : ロシュ	2 : 血清ベース、指定	7 : 企業の標準品	
		アクアオート カイノS ALB試薬	C.f.a.s. II	1	g/dL	22 : BCP改良法	04 : カイノS	2 : 血清ベース、指定	7 : 企業の標準品	
3	総ビリルビン	ネスコートVL T-BIL	ネスコートBIL 標準	1	mg/dL	31 : 酵素法	21 : アルフレッサ	2 : 血清ベース、指定		
参考調査	直接ビリルビン	ネスコートVL D-BIL	ネスコートBIL 標準	1	mg/dL	31 : 酵素法 (σビリルビンを測りこむ方法)	21 : アルフレッサ	2 : 血清ベース、指定		
4	ブドウ糖	リキテック グルコース・HK・テスト	C.f.a.s. II	0	mg/dL	21 : ヘキソキナーゼUV法	22 : ロシュ	2 : 血清ベース、指定	7 : 企業の標準品	
		コバS試薬GLUC III	C.f.a.s. II	0	mg/dL	21 : ヘキソキナーゼUV法	22 : ロシュ	2 : 血清ベース、指定	7 : 企業の標準品	
5	総カルシウム	アクアオートカイノS Ca試薬	C.f.a.s. II	1	mg/dL	51 : アルセナソⅢ法	04 : カイノS	2 : 血清ベース、指定	7 : 企業の標準品	
6	無機リン	コバS試薬IP II	C.f.a.s. II	1	mg/dL	13 : モリブデン酸UV法	22 : ロシュ	2 : 血清ベース、指定	7 : 企業の標準品	
7	マグネシウム	リキテック Mg II	C.f.a.s. II	1	mg/dL	31 : キシリジルブルー法	22 : ロシュ	2 : 血清ベース、指定	7 : 企業の標準品	
8	尿素窒素	デタミナーL UN	C.f.a.s. II	1	mg/dL	23 : UV法・アンモニア消去法	07 : 協和メデックス	2 : 血清ベース、指定	7 : 企業の標準品	
9	尿酸	コバS試薬UA II	C.f.a.s. II	1	mg/dL	31 : ウリカーゼ・ベルオキシダーゼ法	22 : ロシュ	2 : 血清ベース、指定	7 : 企業の標準品	
10	クレアチニン	アクアオートカイノS CRE-Ⅲ試薬plus	C.f.a.s. II	2	mg/dL	21 : 酵素法	04 : カイノS	2 : 血清ベース、指定	7 : 企業の標準品	
11	血清鉄	クイックオート ネオ Fe	Fe標準液「ロシュ」	0	ug/dL	21 : 直接比色法	11 : シノテスト	1 : 溶媒ベース、指定	7 : 企業の標準品	

番号	項目	試薬名	キャリブレーター	下桁	単位	測定法	単位	測定温度	製造販売元	緩衝液	検量	基質	トレーサビリティーの確認
12	AST(GOT)	コバS試薬ASTL	C.f.a.s. II	0	U/L	11 : JSCC標準化対応法	1: 標準化対応国際単位	1 : 37℃	22 : ロシュ		1-1 : 企業の酵素キャリブレーター、指定		7 : 企業の標準品
13	ALT(GPT)	コバS試薬ALTL	C.f.a.s. II	0	U/L	11 : JSCC標準化対応法	1: 標準化対応国際単位	1 : 37℃	22 : ロシュ		1-1 : 企業の酵素キャリブレーター、指定		7 : 企業の標準品
14	LD(LDH)	リキテック LDH JSCC	C.f.a.s. II	0	U/L	11 : JSCC標準化対応法	1: 標準化対応国際単位	1 : 37℃	22 : ロシュ		1-1 : 企業の酵素キャリブレーター、指定		7 : 企業の標準品
15	アルカリ性ホスファターゼ	リキテック ALP II	C.f.a.s. II	0	U/L	11 : JSCC標準化対応法	1: 標準化対応国際単位	1 : 37℃	22 : ロシュ	1 : EAE	1-1 : 企業の酵素キャリブレーター、指定		7 : 企業の標準品
16	r-GT	コバS試薬GGT II	C.f.a.s. II	0	U/L	11 : JSCC標準化対応法	1: 標準化対応国際単位	1 : 37℃	22 : ロシュ		1-1 : 企業の酵素キャリブレーター、指定		7 : 企業の標準品
17	CK(CPK)	リキテック CK-NAC プラス	C.f.a.s. II	0	U/L	11 : JSCC標準化対応法	1: 標準化対応国際単位	1 : 37℃	22 : ロシュ		1-1 : 企業の酵素キャリブレーター、指定		7 : 企業の標準品
18	アミラーゼ	コバS試薬AMY II	C.f.a.s. II	0	U/L	112 : JSCC標準化対応法	1: 標準化対応国際単位	1 : 37℃	22 : ロシュ		1-1 : 企業の酵素キャリブレーター、指定	532 : B-G-7PNP:4,6-イチリデン-G-7	7 : 企業の標準品
19	コリンエステラーゼ	クイックオートネオ Ch-E	C.f.a.s. II	0	U/L	11 : JSCC標準化対応法	1: 標準化対応国際単位	1 : 37℃	11 : シノテスト		1-1 : 企業の酵素キャリブレーター、指定	32 : p-ヒドロキシベンゾイルコリン	7 : 企業の標準品

番号	項目	試薬名	キャリブレーター	下桁	単位	測定法	製造販売元	検量用試料・方法・標準品起源 等	トレーサビリティの確認	基準値・COI (カットオフ値)
20	総コレステロール	デタミナー L TC II	デタミナー脂質用標準血清	0	mg/dL	11 : コレステロール酸化酵素法	07 : 協和メデックス	検量用試料- 2 : 血清ベース、指定	7 : 企業の標準品	
		クオリゼントCHO	Nキャリブレーター	0	mg/dL	11 : コレステロール酸化酵素法	15 : 積水メディカル	検量用試料- 2 : 血清ベース、指定	7 : 企業の標準品	
21	中性脂肪	デタミナー L TG II	デタミナー脂質用標準血清	0	mg/dL	21 : 酵素比色法・グリセロール消去法	07 : 協和メデックス	検量用試料- 2 : 血清ベース、指定	7 : 企業の標準品	
		クオリゼントTG	Nキャリブレーター	0	mg/dL	21 : 酵素比色法・グリセロール消去法	15 : 積水メディカル	検量用試料- 2 : 血清ベース、指定	7 : 企業の標準品	
22	HDLコレステロール	メタボリド HDL-C	メタボリド標準血清 HDL/LDL-C	0	mg/dL	01-0403 : 協和メデックス (メタボリド HDL-C)		検量用試料- 2 : 血清ベース、指定	7 : 企業の標準品	
		クオリゼントHDL	Nキャリブレーター	0	mg/dL	01-1201 : 積水メディカル (クオリゼントHDL)		検量用試料- 2 : 血清ベース、指定	7 : 企業の標準品	
23	LDLコレステロール	メタボリド LDL-C	メタボリド標準血清 HDL/LDL-C	0	mg/dL	01-0403 : 協和メデックス (メタボリド LDL-C)		検量用試料- 2 : 血清ベース、指定		
		クオリゼントLDL	Nキャリブレーター	0	mg/dL	01-1201 : 積水メディカル (クオリゼントLDL)		検量用試料- 2 : 血清ベース、指定		
24	HbA1c	コバス試薬 HbA1c III	C.f.a.s.HbA1c	1	%	02-1705 : ロシュ (コバス試薬HbA1c III)		標準液・検量方法- 1 : 表示値をそのまま使用		
33	フェリチン	コバスシステム FER-ラテックスNX「生研」	FER標準液 NX	1	ng/mL	05-1308 : FER-ラテックス NX□「生研」 (デンカ生研)		検量点- 6点	7 : 企業の標準品	男性 : 50~200 ng/mL 女性 : 12~60 ng/mL (参考 : 基準値の出展 1 : メーカー添付文書)
34	リウマトイド因子	RF-ラテックス X1「生研」	RF標準液 RD	1	IU/mL	05-1302 : RF-ラテックスX1□「生研」 (デンカ生研)		検量点- 5点	7 : 企業の標準品	カットオフ値 : 15IU/mL (参考 : 添付文書) 報告値下限 : 3IU/mL (参考 : 添付文書 測定範囲下限)
37	TP抗体	コバスシステム メディエース TPLA	梅毒陽性標準血清	2	3 : T.U.	05-1204 : メディエースTPLA (積水メディカル)		利用している単位- 3 : T.U.		陽性下限値 : 10T.U. (参考 : 添付文書)
38	CRP	CRP-ラテックスX2「生研」NX	CRP X2標準液 NX	2	mg/dL	21 : ラテックス免疫 比濁法	18 : デンカ生研	標準品 : 12 ERM-DA470,DA472/IFCC (起源) またはDA474/IFCC(IRMM)	7 : 企業の標準品	

：(参考値) 貴施設の COI、基準範囲、および依頼検体数をご確認の上、記載してください。

- 注意 :
- ① トレーサビリティにおいて、「7 : 企業の標準品」を選択する場合、キャリブレーターを測定し、正確性を確認してください。
キャリブレーター以外の物質でトレーサビリティを確認される場合や 補正が行われている場合の標準液とトレーサビリティは、「その他」に該当します。
 - ② ヘモグロビンA1C (全血法) につきましては、コントロール試料として登録後、試料をサンプルカップに全量を入れて測定してください。
試料が少ないため、検体用 (グレー) ラックでは分注が出来ません。コントロール用 (白) ラックにて測定してください。
 - ③ ヘモグロビンA1C (溶血法) につきましては、実施の手引きに従い、専用溶血試液にて両試料とも **7.1 倍希釈して下さい。**
 - ④ 測定範囲以上の結果の場合、自動希釈再検または手による希釈再検を実施してください。
 - ⑤ 基準範囲(判断値) の報告欄には、施設にて採用されている「基準範囲」を報告して下さい。